
❖ 基礎研究部門 ❖

ワークショップ

中世延暦寺における論義—三周義を中心に—

2025 年 1 月 23 日 (木) 16:00～17:30

龍谷大学大宮学舎 西翼 2 階大会議室



長谷川 氏



❖ 概 要 ❖

2025 年 1 月 23 日（木）に、龍谷大学世界仏教文化研究センター 大蔵経総合研究班主催、「中世延暦寺における論義—三周義を中心に—」と題するワークショップが開かれた。講師は長谷川裕峰氏（叡山学院准教授）で、司会は吉田慈順氏（天台宗典編纂所編集員・龍谷大学非常勤講師）で、ファシリテーターは道元徹心（龍谷大学教授）がつとめた。

長谷川氏はまず、比叡山延暦寺で現在行っている法華大会に含まれる論義の様子を紹介し、中世延暦寺で行われていた論義との異同を説明した。次いで、中世延暦寺における論義を研究するための方法論と研究対象に言及し、とりわけ文献主義に立つ証真学派の教学を確認できる貴重な作品『阿弥陀房抄』を取り上げ、本書の構造や三周義をめぐる出題の所依論疏の解明を通して、後世の論義書との比較から証真学派の特色を浮かび上がらせることという次の段階の課題などを提示した。



質疑応答の様子